

介護職員等特定処遇改善加算についての情報公開

医療法人 杏林会(丸田病院・介護老人保健施設ライフハーバーいちき・グループホームあんずの家)では、「処遇改善加算Ⅰ」を算定しています。
また、令和元年10月より「特定処遇改善加算Ⅰ」も算定しています。

職場環境要件の掲示について

見えるか要件に基づき、特定加算の取得状況を報告し、賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組みを内容を以下に掲示します。

	職場環境要件項目	当法人の取組み
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援(研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む)	自己啓発に資格支援を促進するために、研修の受講料や研修費等の負担を行うことにより職員が研修や講習を受けやすい環境を整備している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	職員育成研修計画に基づき、初級・中級の育成を行い、人事考課との連動を行っている
労働環境・処遇の改善	雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	有給休暇取得推進を積極的に行っており、時間単位の有給休暇取得もでき自身のプライベート等で活用できワークバランスの向上に取り組んでいる。
	ICT活用(ケア内容や申し送り事項の共有(事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む)による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等)による業務省力化	専用の介護保険ソフトを活用し、ケアの内容や申し送り事項などを共有することで、記録の電子化による業務軽減を行っている。
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	特浴、リフト浴、電動(低床)ベッドを導入し、介護職員の腰痛対策を行っている。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	子育てと仕事を両立しやすい労働環境や、育児休業を取得しやすくしている。
その他	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	法人で企画会議が運営され、職員の意見が反映された運営に努めている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	事故防止員委員会、各種委員会の運営マニュアルを整備し、対応している。
	障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮	無理のない業務を個々に作成し、他職員もプログラムを共有している。